

<一般選抜試験>

<科目> 生物基礎, 生物(選択科目)

<出題内容・形式・配点>

大問	内 容	形式	配点	試験時間
1	ハーディー・ワインベルグ(HW)の法則と遺伝、分子進化	記述	34	60分
2	細胞の進化、細胞小器官の特徴と機能		33	
3	植物の反応と調節、植物ホルモン		33	
合計			100	

<出題の基本方針>

基本的な出題形式は大問3つ。

教科書に記載されている基本的で重要な生物学用語や概念、仕組みなどを正しく理解しているか、高等学校で学んだ重要な概念を実験データの解析の際に活用できるか、また論理的に推論できるかを問う内容とした。加えて、遺伝子頻度やハーディー・ワインベルグの法則を用いた計算を正しく行えるか、さらに、生物学上の重要な業績を残した人の名前やその人物の唱えた仮説などの知識を問う問題も出題した。

<学習のポイント>

教科書の内容をしっかりと理解して欲しい。

- ・教科書の本文の太字で強調された語句を記憶し、その用語または概念、仮説などを正確に説明できるようにする。
- ・教科書の図表とその説明に注意を払って、内容を正確に理解する。
- ・「遺伝子の発現」の分野は、進化・細胞と分子・代謝・発生・生物の反応と調節・生態などあらゆる分野の基盤となるので、しっかりと理解する必要がある。
- ・基本的で定石的な計算問題が解けるようにする。